



## 第70回国連総会におけるンジャイ・セイディ・ガンビア 副大統領一般討論演説(2015年9月29日)要旨



※ 本文は演説の全訳でなく要旨です。また、本文の小見出し番号は当館において便宜上記したものである旨御注意下さい。

### 1 テロに対する非難

罪なき市民に対するテロ行為を非難する。全能の神は人類が平和のうちに共存することを説いており、我々は少数派である悪魔の息子たちの所行について無関心であってはならない。こうした悪魔的イデオロギーはイスラムの教えの誤った解釈であり、民主主義の理想に対する嘲笑であり、神に対する冒瀆である。国連はこうした行いを撲滅するために団結し、脅威にさらされている国々を支援しなくてはならない。

### 2 核抑止及び武力紛争

イランが核開発の制限に同意し、「包括的共同行動計画（JCPOA）」が成立したことを歓迎する。他方、核兵器の抑制よりも緊急性の高い武力紛争に対処するため、国連及び各地域機構が紛争解決、平和維持及び平和構築において然るべき役割を果たすことを望む。こうした紛争が絶えないことは、国連の機能について疑問を投げかけるものである。

### 3 エボラ出血熱

2014年、西アフリカを襲ったエボラ出血熱の余波はアフリカ大陸全体に及び、経済に負の影響をもたらしている。国連開発グループの試算によると、西アフリカでは今後3年間で毎年36億ドルの損失が生じるとされる。国連は今後も啓発キャンペーン、教育、予防接種などの活動を継続しなければならない。また、特にキューバ、ロシア及び米国による時宜を得た、かつ効果的な支援に感謝する。

### 4 環境問題

気候変動への対応及び天然資源の保全は我々にとって優先課題である。先進国の多国籍企業は砂漠化、干魃、土地の荒廃、海洋汚染等多くの問題について責任を負っている。

国連はエコシステムの再生、森林資源の管理など、必要な措置を積極的に取ると同時に、大規模な海洋及び水資源の汚染の原因となる人災のリスクを軽減するために取り組まなくてはならない。

## 5 安保理改革

アフリカは10億の人口と54の主権国家を擁している。アフリカに常任理事国のポストを2つ与えることで安保理における代表性を高め、意志決定過程への参画を強化することが必要である。

## 6 同性婚への批判

いかなる国も、他国の宗教的信条や価値観を貶めることはできない。世界人権宣言は採択後70年を経た現在においても、国連の家族に関するあらゆる決議や会議等の基礎となっているが、右において家族は「社会の自然かつ基礎的な集団単位」とされており、ここに同性同士のカップルは含まれない。我々はこの規範を逸脱すべきではない。

## 7 アフリカの自立

これまでアフリカの天然資源は侵略者の標的となり、彼らは我々の経済、政治、社会及び人権を蹂躪してきた。今こそアフリカが自身の財産を享受すべき時であり、アフリカの歴史や人々に関する誤った通説や欺瞞を取り去るべき時である。

## 8 パレスチナ紛争

国連がパレスチナ占領区における暴力の抑止に有効な手立てを得られていないことは非常に嘆かわしい。右は明らかに入植の拡大及び入植者の行為に関わる不処罰の文化の帰結である。パレスチナの人々の確定された国境及び首都としての東エルサレムへの権利は守られなければならない。

## 9 薬物等の違法取引

薬物取引や人身売買はあらゆる社会にとっての脅威である。薬物取引はテロやマネーロンダリング、武器の売買等その他の犯罪にも結びつくものであり、早急かつ包括的に国際的な対策が取られなければならない。法整備等のみならず、中毒者のリハビリなども長期的な対策として必要である。これに関し、本年7月23日、ロシアがガンビアにおいてモスクワ・アフリカ反薬物協議ミーティングを主催したことに感謝する。

(了)